

## 別紙 注および引用文献の表記について（機関誌投稿要領 4 関係）

注および引用文献は次のいずれかの方法で表記する。

### (1) 表記法 1

- ・注および引用文献は、論文末に一括して掲げる。

引用法の例

\*論文の場合：著者、論文名、雑誌名、巻、号、年号、引用箇所頁。

1 松下晴彦「日本における翻訳実践の淵源をめぐる系譜学的考察」『教育学研究』第 86 巻第 2 号、2019 年、184 頁。

2 Darling-Hammond, L. “Race, Inequality and Educational Accountability: the Irony of ‘No Child Left Behind,’” *Race Ethnicity and Education*, 10 (3), 2007, pp. 245-260.

\*単行本の場合：著者、書名、発行所、年号、引用箇所頁。

1 市村尚久『アメリカ六・三制の成立過程』早稲田大学出版部、1987 年、25 頁。

2 Dewey, John, *Essays in Experimental Logic*, N.Y.: Dover Publications. Inc., 1916, p. 160.

\*単行本あるいは論文集等に所収されている単独の章・論文の場合：章の著者、章のタイトル、編者、書名、発行所、年号、引用箇所頁。

1 Greene, Maxine, “Poetry and Patriotism,” in Westheimer, Joel, ed., *Pledging Allegiance: The Politics of Patriotism in America’s Schools*, New York: Teachers College Press, 2005, pp. 189-190.

\*ウェブサイトからの引用の場合：可能な限り、上記の引用文献の提示方法に従い、最後に URL と最終アクセス日を記載する（著者、論文名、雑誌名・発行所、年号、URL とアクセス日）。

1 浅沼茂「質的研究の方法と課題」『カリキュラム研究の方法』品川出版、2000 年 (<http://www.shinagawa.co.jp/curriculum/asanuma.pdf>) 最終閲覧日 2023 年 11 月 11 日。

2 日本学術会議（高校地理歴史教育に関する分科会）「提言新しい高校地理・歴史教育の創造」、2010 年 (<https://www.scj.go.jp/ja/ingo/kohyo/pdf/kohyo-21-t130-2-pdf>) 最終閲覧日 2023 年 4 月 30 日。

3 Testa, Italo, “Dewey, Second Nature, Social Criticism, and the Hegelian Heritage,” *European Journal of Pragmatism and American Philosophy* 9(1), 2017, pp. 1-23, (<http://journals.Openedition.org/ejppap/990>) accessed May 3, 2019.

### (2) 表記法 2

- ・引用文献と注を区別する。注は文中の該当箇所に、1 2・・・と表記し、論文原稿末尾にまとめて記載する。

・引用文献は本文中では、著者名（出版年）、（著者名、出版年：引用箇所頁）等として表示する。同一の著者の同一年の文献については、a、b、c・・・を付ける。

例：ところが、浅沼（1990）も指摘しているように、・・・という調査結果もある（阿曾沼 1989a、1989 b）。また OECD の調査によれば「・・・である」（OECD 1988: 45-48）。

・引用文献は、邦文、欧文を含め、注のあとにまとめてアルファベット順に記載する。

\*論文の場合：著者、（年号）、論文名、雑誌名、巻、号、所収頁。

松下晴彦（2019）「日本における翻訳実践の淵源をめぐる系譜学的考察」『教育学研究』第 86 巻第 2 号、176-187 頁。

Darling-Hammond, L. (2007) Race, Inequality and Educational Accountability: the Irony of ‘No Child Left Behind,’ *Race Ethnicity and Education*, 10 (3), 245-260.

\*単行本の場合：著者、（年号）、書名、発行所。

市村尚久（1987）『アメリカ六・三制の成立過程』早稲田大学出版部。

Dewey, John (1916) *Essays in Experimental Logic*, New York: Dover Publications. Inc.

\*単行本あるいは論文集等に所収されている単独の章・論文の場合：章の著者、年号、章のタイトル、編者、書名、発行所、所収頁。

Greene, Maxine (2005) “Poetry and Patriotism,” in Westheimer, Joel, ed., *Pledging Allegiance: The Politics of Patriotism in America’s Schools*, New York: Teachers College Press, 182-192.

\*ウェブサイトからの引用の場合：

浅沼茂（2000）「質的研究の方法と課題」『カリキュラム研究の方法』品川出版、(<http://www.shinagawa.co.jp/curriculum/asanuma.pdf>) 最終閲覧日 2023 年 11 月 11 日。

日本学術会議（高校地理歴史教育に関する分科会）（2010）「提言新しい高校地理・歴史教育の創造」、

(<https://www.scj.go.jp/ja/ingo/kohyo/pdf/kohyo-21-t130-2.pdf>) 最終閲覧日 2023 年 4 月 30 日。

Testa, Italo, (2017) “Dewey, Second Nature, Social Criticism, and the Hegelian Heritage,” *European Journal of Pragmatism and American Philosophy* 9(1) (<http://journals. Openedition.org/ejpap/990>) accessed May 3, 2019.